

公開講座

長町に現存する東北最古の仏像の 再現像を間近に見る

－ 十八夜観世音堂観音菩薩像解説と再現過程報告 －

長町1丁目にある十八夜観世音堂のご本尊は学術調査で東北地方現存最古の木彫像と判断され、2016年(平成28年)に宮城県指定有形文化財に指定されました。現在は安全な保存と継続的な学術調査のため仙台市博物館に保管されており、ご開帳年の祭典以外は十八夜観世音堂がご本尊不在となっていました。十八夜観世音堂保存会の中でご本尊の複製を安置できないかとの声が上がリ、仙台市博物館、宮城県産業技術総合センター、東北工業大学、(有)ジーマデザイン事務所が保存会とともにプロジェクトチームを設立、再現に取り組んできました。1m以上の大きさの仏像再現は技術的に難度が高いものでしたが、宮城県の「KCみやぎ産学協同事業」委託を受け、最先端のデジタルエンジニアリング技術(3Dデジタルイザー、3Dプリンター等)を活用して詳細な再現に至りました。地元でのお披露目を兼ねて公開講座を行います。

■日時 3月31日(日)午後2時開会

■会場 太白区文化センター展示ホール(地下)

■講師 酒井昌一郎氏(仙台市文化財課)

中島敏氏(東北工大教授)

篠塚慶介氏(県産業技術総合センター研究員)

■主催 長町歴史の会、十八夜観世音堂保存会

■備考 入場無料、予約不要・当日直接会場へ

<< 問い合わせ先 249-5454 長町歴史の会 >>